



旭座で落語を見よう

■問い合わせ 文化会館 ☎ 53・9700



平成19年、本市を舞台にしたNHK連続テレビ小説「ちりとてちん」が放映されたことを機に、市民の間で「落語熱」が一気に高まりました。同年には、愛好家らが「ちりとて落語の会」を結成。はまかぜプラザ（駅前町）を拠点に寄席を始め、現在までに100回以上の落語会を開催しています。

また、公民館などでは、定期的に落語家を招いた公演が開かれるようになり、今も好評を博しているほか、令和元年には小学校で落語クラブが結成されるなど、落語は一時のブームに留まらない定着を見せています。

今回は、そんな「落語」について特集します。

旭座では数々の催しが実施

明治期の芝居小屋を移築復原した「まちの駅・旭座」(白鬚)では、平成28年のこけら落とし公演に始まり、年3回の「旭座上方落語会」や、今年で12回目を数える「ちりとてちん杯全国女性落語大会」など、数多くの落語に関する催しが開催されています。

「旭座上方落語会」は、上方落語協会の協力を得て実



全国女性落語大会で熱演する出場者

施。同協会に所属し、第一線で活躍する落語家たちの公演を見られることから、毎回、大勢の観客でにぎわいます。また「ちりとてちん杯全国女性落語大会」は、アマチュア女性落語家が話芸を競う大会で、毎年、全国各地からこぞって出場者が集まる人気ぶりです。

落語で小浜を盛り上げるため

上方落語協会と協力

市は、落語を旭座の主要な演目にし、芸術文化の発展や観光誘客によるまちづくりにつなげようと、平成28年9月に、上方落語協会と「落語による地域振興」に関する連携協定を結びました。



協定締結式で握手を交わす
桂文枝前会長(左)と松崎市長(右)

締結以来、落語で小浜を盛り上げるため、同協会と市が協力してさまざまな取り組みを行っています。

落語の催し

- ・「旭座上方落語会」の定期開催
- ・県外からの観光客を対象にした、旭座での落語鑑賞や市内各所での体験を組み込んだツアー
- ・落語による詐欺防止や男女共同参画の啓発



大阪からのツアー客を迎える桂文福師匠



「旭座上方落語会」への出演や、「ちりとてちん杯全国女性落語大会」の審査員を務めるなど、本市とも縁が深い林家染雀師匠にお話を伺いました。

師匠は全国のさまざまな会場で落語を演じられています。場所に よって演じやすい、演じにくいといったことはありますか？

仕事ですから、本当は「どこでも演じます」と言いたいところですが…実は、会場によって演じやすい、演じにくいというのがあります(笑)。

演りやすいのは、お客さんに落語を楽しんでもらえる雰囲気になった場所。具体的には、余計なものがなく、「広すぎず、狭すぎず」な空間、でしょうか。

林家染雀

大阪府八尾市出身
52歳
林家染丸に入門
趣味は茶道、長唄、三味線、日本舞踊

広すぎてダメ、というのはい

落語って、どこで見ても同じように楽しいかっていうと、そうでもないんです。

例えば、公民館などで落語講座を開く場合。会議室で、聞き手の前に机があるだけで、笑いの量は半分以下になります。

逆に、ソファがあるラウンジのような開放感のあるところだと、お客さんがばらけてしまっ、これも途端に受けが悪くなる。

ゆったりくつろぎすぎると、落語には不向きなんです。

できれば、少し窮屈な



「旭座上方落語会」の様子

くらしいところにギュッと固まって見て頂く方が、会場に一体感が生まれて、より落語を楽しめます。

そうすると、聞き手もあまり多くない方が良いですか？

はい。そりゃあ、何万人も入ってくれたら、こちらは儲かりますしありがたいですが(笑)。

あまり人が多いと、落語家までの距離が遠くなつて、落語を見るには向きません。

落語は、語りはもちろん、動きや表情も魅力の一つです。だから、話し手の姿が肉眼でハッキリ見えるくらいの距離が、落語を一番楽しめる。「嘶二百に節三百」という言葉もあるくらいで、落語は200人くらい、節(浪曲)は300人くらいがちょうど良い、という意味です。

おすすめの落語の見方を教えてください

私は、芝居小屋こそが、落語を見るのに理想的なハコ(会場)だと思っっているんです。

その最大の理由は、落語と芝居の切っても切れない関係にあります。

江戸時代、芝居は一番の娯楽でしたが、なかなか高価で、庶民が気軽に見られるものじゃなかった。そこで、落語の始祖の人、大阪の米澤彦八は、「しかたものまね」と呼ばれる歌舞伎のも

のまねをすることも多かった。庶民のニーズに応えたわけですね。

こうした

関係を頭の隅に置いておくと、芝居小屋で落語を見ること



芝居嘶「柿ノ木金助」を演じる染雀師匠

とがとても素敵に思えるんです。

旭座の魅力とは？

落語の会場にはうってつけです。元が芝居小屋だから雰囲気たっぷりだし、収容人数もちょうど200人くらい。お客さんがギュッと詰まって見られる大きいです。

これほど落語を見るのにふさわしい場所は、そうそうありません。小浜の宝だと思えますね。

第12回 旭座上方落語会

3月8日の「鯖の日」に、落語会を開催します！

【とき】3月8日(日) 14時～

【ところ】旭座(白鬚)

【料金】2,000円

【出演者】桂塩鯛ほか

【申し込み】旭座 ☎ 52・2000